

ハヤヨミ！ 看護政策 No.461

都道府県看護協会長 様
本会職能委員 様

日本看護協会 広報部
2025年3月18日



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム における医療提供体制を議論 — 精神保健医療福祉の 今後の施策推進に関する検討会 —

◎公開可

◎精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける医療提供体制を議論 精神保健医療福祉の今後の施策推進に関する検討会

3月10日に標記検討会が開催され、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける医療提供体制について、3つの自治体からのヒアリングを基に議論した。市町村からは、庁内の関係部署との連携体制を構築して福祉的支援の必要な世帯を早期に発見する仕組みづくりや、保健師が早期から予防的に関わり関係性を築いて医療に結び付けている事例が紹介された。保健所からは、精神科外来に新規で受診するには数カ月待たなければならない実態があり、精神科外来が医療提供機能に集中できるよう、多職種による訪問やオンラインなどを活用した相談事業などを充実させている事例が報告された。

構成員からは、かかりつけ精神科医療機関に求められる機能を病院が果たすことは、人員体制から難しいと意見があった。これについては、市町村や保健所でアウトリーチチームを持つことや複数の病院で精神科救急システムをつくるのが有効ではないかと意見が出た。また、新患診療や保健所等との連携にかかる診療報酬上のインセンティブや自治体からの委託などの工夫が必要という意見もあった。松本常任理事は「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の推進には、これまでの地域包括ケアシステムの枠を超えたさまざまな分野での保健・医療・介護・福祉の連携が必須であるとし、「いずれの領域でも活躍する看護職の役割には大きな期待があり、対応できる専門性の高い看護職を育成し、外来機能の拡充や予防活動を展開していくことも併せて考えていく必要がある」と述べた。（執筆：松本常任理事）

◎訪問看護ステーションの指導監査を議論

中医協総会

3月12日に標記部会が開催され、看護関連としては、訪問看護ステーションの指導監査について事務局より説明があった。昨年からの訪問看護の不適切な事案に関する報道や、年間医療費総額またはレセプト1件当たりの平均医療費が高額になっている

<お問合せ先> 日本看護協会 広報部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 電話：03-5778-8547 FAX：03-5778-8478

Eメール koho@nurse.or.jp ホームページ <https://www.nurse.or.jp/>

訪問看護事業所が急増している。現行の訪問看護ステーションへの指導は、開設時または情報提供があった場合のみであるため、指導監査の見直しの方向性として、①複数都道府県で広域に運営する訪問看護ステーションについて、本省並びに地方厚生（支）局及び都道府県による指導の仕組みの新設②個別指導の選定基準が情報提供など限定的なので、高額など一定の選定基準による教育的な視点による指導機会を設けることが提案された。診療側、支払側共に異議はなかったが、支払側が、詳細な分析を進めて診療報酬で対応すべきことは次回の診療報酬改定に向けて議論すべき、管理者や経営者への指導も必要と述べ、公益委員からは、高額請求の内容を確認し、指導の要否について検討すべきとの意見があった。木澤常任理事は、訪問看護ステーションにおいても、医科・歯科などでの指導・監査と同様とすることの重要性、必要に応じた個別性の高い指導機会の確保、利便性の確保によってより質の高い訪問看護提供体制の確保に期待する旨、賛同の意を発言した。（執筆：木澤常任理事）

「ハヤヨミ！ 看護政策」は、看護政策関連の情報や本会の動きを、都道府県看護協会の皆さまと本会職能委員の皆さまにお伝えするものです。内部活用を基本としていますが、中見出しに記載している「○」は公開可能な内容、「■」は公開をお控えいただきたい内容です。情報の取り扱いには、ご留意いただくようお願い申し上げます。